

対象国の条件：

研修コース番号 :201984695-J002

案件番号 :201984695

主分野課題：農業開発/農業サービス（普及、研究、金融、農民組織等）

副分野課題：

使用言語：英語

案件概要

途上国では農業は重要な産業であるが、小農は資金もなく、生産性向上には多くの課題を抱えている。地域の農業振興を担う普及員はその課題解決に努めているが、予算や人員も限られている。北海道の十勝では開拓から130年の歴史の中で農民の自主性を活かすことでこれら課題を少しずつ解決してきた経験を有する。本プログラムは、参加研修員が、農民の意向を尊重した農村開発アプローチや、農民の意欲を向上させる効果的な市場参画の手法を学び、農民によるフィールドスクールや、農家間での技術普及といった農民主導による普及活動を計画・運営できる能力の向上を図るものである。

目標/成果

対象組織/人材

【案件目標】

参加者が、農家の生計向上を促すための農民主導による普及活動計画を策定する。

【成果】

1. 農民とのコミュニケーションおよび共働のあり方について説明できる
2. 農民の意欲向上につながるアグリビジネスのポイントについて説明できる
3. 帰国後の農民主導による普及活動の計画を纏めた活動計画が作成される

【対象組織】

各国の農業普及局、農家組織等、農業技術の普及に携わる機関

【対象人材】

農業指導者、普及員、農家組織のリーダー等、自ら普及活動計画を立案し実施、促進できる立場にある者

内 容

【事前活動】

自国における農業技術普及活動にかかる問題点、また参加者自身の担当業務で抱える問題点、および本研修で習得したい内容について記載したインセプションレポートの作成

【本邦研修】

- (1) 農業教育カリキュラムの構成と組み立て方法、農業高校における教育：生徒主体の農作物栽培・加工プロジェクト等、農業改良普及所の取り組みとアプローチ方法、農民主導による土幌農協の発展の歴史と現状
- (2) 農協と地域開発、十勝の農畜産業の仕組みと農民の所得を増やすアグリビジネスの取り組み、優良農家の取り組み、地域特産品の開発、農家の発案による効果的な市場参画への取り組み
- (3) 農民の自発性を促すワークショップ手法、活動計画の作成

【事後活動】

研修成果を関係者と共有し、普及計画に役立てる

本邦研修期間

2019/11～2019/12

担当課題部

農村開発部

所管国内機関

JICA北海道（帯広）

関係省庁

実施年度

2018～2020

主要協力機関

十勝インターナショナル協会

特記事項
及び
ホームページ

<http://www.t-i-a.jp/>